

## オーブン カレッジ

たばこ税の税収は、国と地方を合わせても2兆円程度と少ないものの、国や地方自治体にとって安定的な財源の一つである。たばこ税は、「平成23(2011)年度税制改正大綱」で東日本大震災の復興財源として、たばこ1本に対し1円(地方税を含め2円)の臨時特別税が検討されたが、結局、葉たばこ農家への影響などから実現しなかった。昨年末の「令和5(2023)年度税制改正大綱」では、防衛費の財源としてたばこ税の増税が浮上し、

### 財源としてのたばこ税

とされている。江戸時代には「きせる」が流行し、明治時代には「輸入たばこ」が流行した。「紙巻たばこ」は、明治14(1881)年に開催された「第2回内国勸業博覧会」で有功賞を受賞し、国産化の道が開かれた。近年では、紙巻たばこの販売は、減少が続くものの、加熱式たばこの人気が高まっている。紙巻たばこの販売数量は、平成8(1996)年度の3483億本をピークに年々減少し、紙巻たばこ以外の製造たばこの割合が増加している。

たばこには税だけでなく、専売納付金が課されてきた。明治27(1894)~1895)年、日清戦争を機に大蔵省専売局が設けられ、政府が葉たばこを買い付け、一定金額を加算して、製造業者に卸す方法が採用された。明治31(1898)年、葉煙草専売法が施行され、原料の葉たばこを国が買い上げ、それに伴い専売納付金制度が導入された。明治37(1904)年7月には、葉煙草専売制度に代わる煙草専売制度が導入され、専売納付金は、日露戦争の財源に利用され

た。第一次世界大戦後、大蔵省専売局の廃止に伴い日本専売公社が設立されたが、煙草専売制度は存続した。

1)年に開催された「第2回内国勸業博覧会」で有功賞を受賞し、国産化の道が開かれた。近年では、紙巻たばこの販売は、減少が続くものの、加熱式たばこの人気が高まっている。紙巻たばこの販売数量は、平成8(1996)年度の3483億本をピークに年々減少し、紙巻たばこ以外の製造たばこの割合が増加している。

たばこには税だけでなく、専売納付金が課されてきた。明治27(1894)~1895)年、日清戦争を機に大蔵省専売局が設けられ、政府が葉たばこを買い付け、一定金額を加算して、製造業者に卸す方法が採用された。明治31(1898)年、葉煙草専売法が施行され、原料の葉たばこを国が買い上げ、それに伴い専売納付金制度が導入された。明治37(1904)年7月には、葉煙草専売制度に代わる煙草専売制度が導入され、専売納付金は、日露戦争の財源に利用され

## なぜ防衛費

### 財源に？

たばこには税だけでなく、専売納付金が課されてきた。明治27(1894)~1895)年、日清戦争を機に大蔵省専売局が設けられ、政府が葉たばこを買い付け、一定金額を加算して、製造業者に卸す方法が採用された。明治31(1898)年、葉煙草専売法が施行され、原料の葉たばこを国が買い上げ、それに伴い専売納付金制度が導入された。明治37(1904)年7月には、葉煙草専売制度に代わる煙草専売制度が導入され、専売納付金は、日露戦争の財源に利用され

たばこには税だけでなく、専売納付金が課されてきた。明治27(1894)~1895)年、日清戦争を機に大蔵省専売局が設けられ、政府が葉たばこを買い付け、一定金額を加算して、製造業者に卸す方法が採用された。明治31(1898)年、葉煙草専売法が施行され、原料の葉たばこを国が買い上げ、それに伴い専売納付金制度が導入された。明治37(1904)年7月には、葉煙草専売制度に代わる煙草専売制度が導入され、専売納付金は、日露戦争の財源に利用され

たばこには税だけでなく、専売納付金が課されてきた。明治27(1894)~1895)年、日清戦争を機に大蔵省専売局が設けられ、政府が葉たばこを買い付け、一定金額を加算して、製造業者に卸す方法が採用された。明治31(1898)年、葉煙草専売法が施行され、原料の葉たばこを国が買い上げ、それに伴い専売納付金制度が導入された。明治37(1904)年7月には、葉煙草専売制度に代わる煙草専売制度が導入され、専売納付金は、日露戦争の財源に利用され



柴由花 山女学園大学 現代マネジメント学部教授

今後、国会で審議される見込みである。たばこは、16世紀にポルトガルからもたらされた

しば・ゆか 租税法、租税政策。横浜国立大学大学院社会科学研究所国際開発専攻博士課程修了。博士(国際経済法学)。

たばこには税だけでなく、専売納付金が課されてきた。明治27(1894)~1895)年、日清戦争を機に大蔵省専売局が設けられ、政府が葉たばこを買い付け、一定金額を加算して、製造業者に卸す方法が採用された。明治31(1898)年、葉煙草専売法が施行され、原料の葉たばこを国が買い上げ、それに伴い専売納付金制度が導入された。明治37(1904)年7月には、葉煙草専売制度に代わる煙草専売制度が導入され、専売納付金は、日露戦争の財源に利用され

たばこには税だけでなく、専売納付金が課されてきた。明治27(1894)~1895)年、日清戦争を機に大蔵省専売局が設けられ、政府が葉たばこを買い付け、一定金額を加算して、製造業者に卸す方法が採用された。明治31(1898)年、葉煙草専売法が施行され、原料の葉たばこを国が買い上げ、それに伴い専売納付金制度が導入された。明治37(1904)年7月には、葉煙草専売制度に代わる煙草専売制度が導入され、専売納付金は、日露戦争の財源に利用され